

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	SYLVAPINE™ A (Alpha Pinene)		
供給者の会社名称, 住所及び電話番号			
会社名	Kraton Chemical, LLC		
住所	P.O. 箱 550850 Jacksonville, FL 32255-0850 米国		
電話番号	電話番号	904-928-8700	
	Alternate Phone Number	800-526-5294	
	ファックス番号	904-928-8780	
緊急連絡電話番号	Emergency-US CHEMTREC	800-424-9300	
製品コード	200000000091		
推奨用途及び使用上の制限			
推奨用途	産業用: 産業サイトにおける物質それ自体または調剤内に含まれる物質の使用。調剤の配合 [混合] および/または再包装 (合金を除く)。		
整理番号	8570		

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	皮膚感作性	区分1
	誤えん有害性	区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分1

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気。飲み込むと有害。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。水生生物に非常に強い毒性。長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。容器を密閉しておくこと。容器を接地しアースをとること。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する措置を講ずること。ミスト/蒸気の吸入を避けること。取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置 飲み込んだ場合：直ちに毒物センター／医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。火災の場合：適切な消火剤を使用して消火すること。漏出物を回収すること。

保管 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

廃棄 内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性 静電気蓄積性の可燃性液体は、アースおよび接地された器具であっても静電帯電することがある。火花は液体および蒸気に点火するおそれがある。瞬時火災または爆発の原因となる可能性がある。

その他の情報 なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。

非常事態の概要 熱、火花または炎で発火する可能性がある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。飲み込むと有害。皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号		
		化審法	安衛法	含有量 (%)
アルファーピネン	80-56-8	(4)-593, (8)-497	(4)-593, (8)-497, 7-(2)-34, 7-(2)-50	100

化学式 C10-H16 (80-56-8)

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合 直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。嘔吐させない。もし嘔吐が起ったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 直ちに汚染された衣服を脱がせる。医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項 一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。火傷：直ちに水で洗い流す。洗いながら火傷の部分に付着していない衣服を取り除く。救急車を呼ぶ。病院への搬送中も水洗いを続ける。被災者を保温する。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧。泡消火剤。二酸化炭素 (CO2)。小規模火災の場合のみ、粉末消火剤、二酸化炭素、砂または土を使用することもできる。

使ってはならない消火剤 消火に棒状放水しないこと

火災時の特有の危険有害性 蒸気は、空気と混合し、爆発性混合物を生成することがある。蒸気は発火点までかなりの距離を移動し、フラッシュオーバーすることがある。本製品は電気の不良導体であり、静電帯電することがある。帯電が十分に蓄積した場合、可燃性混合物への引火が起こることがある。静電放電の可能性を減らすため、適切な接地とアースをとる手順を踏むこと。本液体は、適切にアースをとられた容器に入れるとき、静電気を蓄積する恐れがある。少量の水その他の不純物の存在により、静電気の蓄積がかなり増大する恐れがある。物質は水の表面で浮かび、発火することがある。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。本生成物は分解後、一酸化炭素、二酸化炭素及び / または低分子量の炭化水素を放出する。

特有の消火方法 火災や爆発の場合、煙を吸入してはならない。適切な保護具を着用する。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性 引火性液体及び蒸気。

特定の消火方法 通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト／蒸気の吸入を避けること。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。環境汚染を回避するために適切な封じ込めを行うこと。バキューム車などの機械的手段で回収タンクまたは他の適切な容器に移し、回収するか安全に廃棄すること。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具についてはSDS第8項を参照。

環境に対する注意事項 環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。環境汚染を回避するために適切な封じ込めを行うこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。火花を発生させない工具を使用すること。この製品は水に混和性である。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。

大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、砂、土などの不燃性物質に製品を吸収させて容器に回収し、後で廃棄する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出： 土、砂またはその他の不燃性物質に吸収させて、容器に移し、後で処分する。吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等） 製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。火花の出ない工具や防爆器具を使う。防爆型の全体および局所排気型換気装置。

安全取扱注意事項 裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当たらないようにする。静電気の放電防止策を施す。味を見たり飲み込んだりしてはならない。ミスト／蒸気の吸入を避けること。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。長時間の接触を避ける。使用中は飲食や喫煙をしない。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。

接触回避 強酸化剤。詳細についてはSDS第10項を参照。

衛生対策 使用中は飲食や喫煙をしない。眼の洗浄用噴水と緊急用シャワーをお勧めします。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

- 安全な保管条件** 施錠して保管すること。熱、火花、裸火から離して保管する。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。スプリンクラーのある場所に置く。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。
- 安全な容器包装材料** 元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 標準監視手順に従ってください。

暴露限界値

日本産業衛生学会

成分	タイプ	数値	形状
アルファ-ピネン (CAS 80-56-8)	TWA	280 mg/m ³	テレピン, 油
		50 ppm	テレピン, 油

米国. ACGIH 限界値

成分	タイプ	数値
アルファ-ピネン (CAS 80-56-8)	TWA	20 ppm

設備対策

防爆型の全体および局所排気型換気装置。適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空気中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空気中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備および安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具

空気中の濃度を推奨曝露限界（適用できる場所で）、または許容レベル（曝露限界が確立していない国）を工学技術管理が下回らない場合、推奨マスクを着用しなければならない。

手の保護具

高温の材料、物質を扱う場合は、耐熱手袋を使う。適切な手袋を選ぶには、素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。製造者によっても違うので、その点にも注意する。EN374で試験済みの適切な手袋を着用すること。手袋の専門業者と相談し、手袋の素材の破過時間についての情報を得た上で、最適な手袋を選ばなければいけない。ゴム、ネオプレン、ニトリルまたはビトンの手袋の使用をお勧めします。連続接触の場合、破過時間が240分超、できれば480分超の手袋をお勧めします。短時間や飛沫防護の場合も同じものをお勧めしますが、この保護レベルを提供する適切な手袋がご利用になれない場合には、破過時間がこれより短い手袋でも許容されます。ただし、適切なメンテナンスと交換の規定に従ってください。手袋は通常、0.35 mmを超える厚さのものにしてください。これはあくまで推奨であり、すべての作業現場に該当するわけではありません。特定の使用条件に対する承認を提供するものではありません。使用前に危険性評価を実施し、具体的な作業環境と工程に対して手袋が適切であることを確認してください。

眼, 顔面の保護具

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。フェイスシールドが望ましい。

皮膚及び身体の保護具

適切な耐化学薬品性の衣服を着用する。不浸透性エプロンの使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態** 液体。
- 形状** 液体。
- 色** Colorless
- 臭い** テレピン油。
- 融点/凝固点** -58 °C (-72.4 °F)
- 沸点又は初留点及び沸点範囲** > 152 - < 157 °C (> 305.6 - < 314.6 °F)
- 可燃性** 該当しない。
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界**
- 爆発限界-下限(%)** データなし。

爆発限界－上限(%)	データなし。
引火点	29.0 °C (84.2 °F) セタフラッシュ密閉式
自然発火点	255 °C (491 °F)
分解温度	データなし。
pH	データなし。
動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度 (水)	<0.04 mg/l at 20°C
蒸気圧	データなし。
密度及び／又は相対密度	
密度	860.00 kg/m ³ で 15.5°C
相対密度	データなし。
相対ガス密度	4.8 (空気=1.0)
粒子特性	データなし。
その他の情報	
化学族	テレピン油。
爆発性状	爆発物でない。
爆発性	>0.8 % 空気中での爆発限界、下限、容量%
可燃性	可燃性物質類
分子量	136.23 g/mol
酸化能力	酸化性でない。
揮発物濃度	99.9 % 推定値
がら当りポイント	7.2 で 15°C
比重	0.86 ASTM D802-82 で 15°C/15°C; (water=1)
加重固体	0 %

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	強酸化剤。加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。引火点を超える温度を避ける。混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	分解後、本生成物は二酸化炭素、一酸化炭素、水やその他の燃焼性生成物を含んだ臭いの強い濃厚な煙を放出します。

11. 有害性情報

急性毒性	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。物質の99.99%は急性吸入毒性が未知の成分から成る。
------	--

成分	種	試験結果
アルファ-ピネン (CAS 80-56-8)		
亜急性		
吸入		
LOAEL (最小毒性レベル)	フィッシャー344ラット	> 25 ppm, 14 週、週間 オス ;データは類似製品のもので。 ; OECD 413
NOAEL	フィッシャー344ラット	> 200 ppm, 14 週、週間 メス ;データは類似製品のもので。 ; OECD 413

成分	種	試験結果
経口 NOAEL	SDラット	250 mg/kg/日 生殖への毒性なし ; データは類似製品のものです。 ; OECD 414
	マウス	> 50 ppm, 14 週、週間 OECD413
急性 経口 LD50	SDラット	500 mg/kg OECD423
経皮 LD50	ニュージーランドホワイトラビット	> 2000 mg/kg データは類似製品のものです。
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激。	
腐食性 アルファ-ピネン		刺激性腐食性 - 皮膚, 皮膚への刺激 .; Data is for similar product. 結果: 陽性の 種: 人間 臓器: 皮膚 注記: ECVAM v1.8
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。	
目に入った場合 アルファ-ピネン		刺激性腐食性 - 眼, 眼の刺激なし .; Data is for similar product. 結果: 陰的 種: ニュージーランドホワイトラビット 臓器: 眼 観察期間: 72 時間 注記: OECD 405
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
ACGIH 感作		
テレピン及び選択されたモノテルペン (CAS 80-56-8)	皮膚感作性	
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。	
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。	
皮膚感作性 アルファ-ピネン		29 % 局所リンパ節試験 - 最低反応生成濃度, 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 ; データは類似製品のものです。 結果: 陽性の 種: マウス 臓器: 皮膚 注記: OECD 429
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
変異原性 アルファ-ピネン		哺乳動物細胞によるインビトロでの遺伝子突然変異試験, データは類似製品のものです。 結果: 陰的 種: マウス 注記: OECD 476

変異原性

アルファーピネン

生殖細胞変異原性：Ames 試験, 本製品または0.1%を超える濃度で存在するあらゆる成分が変異原性または遺伝子毒性であることを示すデータはない。 ; データは類似製品のもので

結果: 未判定

種: Salmonella typhimurium

注記: OECD 471

生殖細胞変異原性：染色体異常, この物質は、試験管内の人間のリンパ球に対して非クラスト遺伝子とされています。 ; データは類似製品のもので

結果: 未判定

種: 人間

注記: OECD473

遺伝的毒性 in vivo, データは類似製品のもので

結果: 未判定

種: マウス

注記: OECD 474

発がん性

ACGIH発がん性物質

アルファーピネン (CAS 80-56-8)

A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

生殖毒性

この製品は、生殖影響または発生影響を引き起こすとは予測されない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分に該当しない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

区分に該当しない。

誤えん有害性

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分	種	試験結果
アルファーピネン (CAS 80-56-8)		
EC10	活性下水汚泥	38 mg/l, 3 時間 データは類似製品のもので ; OECD 209
EC50	活性下水汚泥	326 mg/l, 3 時間 データは類似製品のもので ; OECD 209
	藻 (緑藻類)	48 時間 >>水溶性 ; データは類似製品のもので ; OECD 201
LOEC	藻 (緑藻類)	0.494 mg/l, 48 時間 データは類似製品のもので ; OECD 201
NOEC	藻 (緑藻類)	0.247 mg/l, 48 時間 データは類似製品のもので ; OECD 201
水生		
甲殻類	オオミジンコ	0.475 mg/l, 48 時間 データは類似製品のもので ; OECD 202
魚類	ゼブラフィッシュ (Danio rerio)	0.303 mg/l, 96 時間 データは類似製品のもので ; OECD 203
	コイ (Cyprinus carpio)	96 時間 >>水溶性 ; データは類似製品のもので ; OECD 203

生態毒性

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

残留性・分解性

この製品は生分解性である。

生分解性

パーセント分解（好気性生物分解）

アルファ-ピネン

76 %, データは類似製品のもです。

結果: 易生分解性

種: 活性下水汚泥

試験期間: 28 D

生体蓄積性

生体内蓄積の可能性

オクタノール/水分係数 log Kow

アルファ-ピネン

4.49, at 25°C

土壤中の移動性

この製品は水に混和性である。

オゾン層への有害性

データなし

他の有害影響

その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。

汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないこと。内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number

2368

UN proper shipping name

alpha-Pinene

Transport hazard class(es)

Class

3

Subsidiary risk

-

Packing group

III

Environmental hazards

Yes

ERG Code

3L

Special precautions for user

Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

Other information

Passenger and cargo aircraft

Allowed with restrictions.

Cargo aircraft only

Allowed with restrictions.

IMDG

UN number

2368

UN proper shipping name

alpha-PINENE, MARINE POLLUTANT

Transport hazard class(es)

Class

3

Subsidiary risk

-

Packing group

III

Environmental hazards

Marine pollutant

Yes

EmS

F-E, S-E

Special precautions for user

Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

データなし。

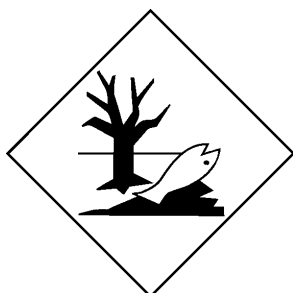
一般情報

IMDGに定める海洋汚染物質。

IATA; IMDG



海洋汚染物質



国内規制

国内輸送については15項の規制に従うこと。

応急措置指針番号

127

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

2023年3月31日までの環境汚染物質排出移動登録に関する法律

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法

第四類第二石油類(非水溶性液体) 危険等級III

火薬類取締法

該当せず。

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

KRATON CORPORATIONは、各顧客または本SDS（安全データ情報）の受取人がそれをよく調べ、必要に応じてまたは適宜、適切な専門家の意見を参照し、本SDSに含まれるデータおよび製品に関連付けられる危険を認識し、理解するよう勧めます。本書に記載の情報は、本書の日付時点で、信頼できる情報源から取得された、最新情報に基づいており、合理的な努力と誠意をもって作成されています。かかる情報は、一切の保証なしに作成されており、また執筆者、その雇用主、関係会社に何らの法的義務や責任を定めるものではありません。ここに提供される情報は、指針として作成されたものに過ぎず、その完全性は保証されません。この情報は、一切の個別の製品の特徴、性質、品質、または仕様を保証しません。

この情報は、出荷するよう指定された特定の製品にのみ関連しており、本書に明示的な定めがない限り、他の素材や製品と組み合わせ、または何らかのプロセスにおいて、かかる製品を使用した場合、この情報が有効性を失う可能性があります。本書で定めるいかなる規定も、既存の特許権に抵触するか、または既存の特許権により請求される製品の使用を推奨する、またはかかる製品の使用に対してライセンスを付与すると解釈されません。利用者は、製品の意図された使用がかかる特許を侵害しているかどうかを単独で最終的に判断するものとします。規制要件は、変更される可能性があり、またさまざまな地域間で異なる場合があります。ユーザーの活動がすべての現地、連邦および国際法規および現地の許可基準を遵守していることを確保するのはユーザーの責任です。

当社は、当社のために、および当社の関連会社を代表し、本書に記載された情報に何らかの形で関係する何らかの活動から生じた損害または傷害に対し、一切の責任を明示的に否定します。情報源の増加により、当社は、当社以外の情報源から取得されたSDSに対して責任を負わず、また負うことができません。別の情報源からSDSを取得した場合、またはお持ちのSDSが最新版かどうかわからない場合、当社にご連絡いただき、最新版をお求めください。

*KRATON, the KRATON logo, the "Green Super Drop" logo, 1101, ABIETA, AQUATAC, BiaXam, BI-THIN, CENTURY, CENWAX, CirKular+, ELEXAR, ELLAMERA, E-LEXAR, HiMA, IMSS, IPD, NEXAR, PER-SUST, PriMul, RAD-THICK, REFLECTAID, REvolution, SYLFAT, SYLVABIND, SYLVABLEND, SYLVACLEAR, SYLVACOTE, SYLVADERM, SYLVAFUEL, SYLVAGEL, SYLVAGUM, SYLVALITE, SYLVAMIN, SYLVAPINE, SYLVAPRINT, SYLVARES, SYLVAROAD, SYLVAROS, SYLVASOLV, SYLVATAC, SYLVATAL, SYLVATRAXX, TER-SET, UNICLEAR, UNIDYME, UNIFLEX, UNI-REZ, UNI-TAC, and ZONATAC は、Kraton Corporation、または1つまたは複数の国（ただしすべての国ではない）の子会社もしくは関連会社の商標または登録商標です。

©2016-2023 Kraton Corporation

改訂情報

化学物質等及び会社情報: 化学物質等及び会社情報
危険有害性の要約: 補足的ラベル要素
危険有害性の要約: その他の情報
組成及び成分情報: 成分情報
適用法令: カナダ規制
適用法令: US TSCA
その他の情報: 免責条項
GHS: 分類